

1. 日時 2014. 3. 23 (日) 13:30～
- 2 場所 厚崎公民館
3. 出席 17名
4. 役員会からの報告

① 「NPO 那須希望の砦」の解散手続き、書類上は完了 (谷山)

大笹氏から3月20日に「昨日、法務局の清算終了の登記が完了しました。本日、税務署、那須町役場にそれぞれ必要な書類を提出してすべて書類上の作業は完了致しました」というメールをいただいた。「あとは機器譲渡をおこなう形でアジア学院に引き渡されれば、NPO法人那須希望の砦としては完了となります」機器の譲渡はメールによると31日の週になる予定。

- ・地域計測を始める前に、16台の計測器を較正する。(簡便法で全機器を並べて比較し、ほぼ同等の測定値になるものから優先的に使用する)
- ・計測機器を各チームに貸し出すことにするが、それぞれのチームで砦の財産である機器の管理に責任をもつ。(管理台帳作成 柴田鏡子さん)
- ・現時点で機器の貸し出しを希望するチーム  
C・Dチーム Bチーム Fチーム

② 「那須希望の砦」からの意見書に対する栃木県からの回答 (竹原)

1月26日(日)黒磯文化会館で行われた「栃木県における放射線による健康影響に関する有識者会議シンポジウム」そのあと行われた「那須希望の砦」の1月定例会でだされた意見をもとに、県に意見書を提出した。その回答が届いた。

「県としてはリスクコミュニケーションで検討をすすめていく」というものだった。

③ 「市民計測所」(スペクトルメーター設置場所)について (竹原)

引き続き情報を寄せてほしい

5 議事

① 今の生活環境(放射線レベル)で1年間暮らすと、どれくらい被爆するの?(嘉部)

- ・自己紹介。東京の病院で放射線技師として働いてきた。2011年6月に那須塩原市に転入。7月、自宅庭、地上1メートルの放射線量を測ったら、3か所平均0.58(0.48 0.57 0.68)マイクロシーベルトあり、病院のレントゲン室の「放射線管理区域」内に住んでいることと同じだと思い、除染

に取り組んだ。屋根をガルバリー鋼板にふき替え、デッキも取り替えた。東電に損害賠償請求をしようと思っている。

- ・人間の細胞は 60 兆個あるといわれているが、年間 1 ミリシーベルトの放射線を浴びる、ということは1つの細胞に1回放射線を浴びることと同じと考えられる。

- ・参加者各自が計算機を使って、簡素化された計算式の中に自分の「内部被爆量」「外部被爆量」をあてはめて年間の被爆量を計算した。

② 放射能汚染の現状と対策（最新の福島の甲状腺検査結果にもふれて）（竹原）

- ・プロジェクターを使ってこれまでのデータも説明

- ・この資料は <http://www.freeml.com/nasukibounotoride/files> からダウンロードできる

③ 自宅の「国メニュー放射能除染作業」後の除染計測表（森）

- ・昨年、国のメニューで自宅を除染

- ・ことし、3月4日除染した場所と、そこから 50～60 センチ離れた地点を比較計測

- ・除染したところは線量が下がっているが、そこから 50～60 センチ離れているところは高いまま。国の除染メニューでは効果が薄いことがわかる

④ 参加者の自己紹介と一言

6 4月 予定

役員会 4月13日（日）13.30～ 於 厚崎公民館

定例会 4月27日（日）13.30～ 於 厚崎公民館

（文責 三楠 紀子）